

入院のご案内

[令和5年10月改訂版]

入院日が決まっている患者さんへ

入院日 月 日 (曜日)
 午前
 午後
 時 分 ~ 時 分

※入院日およびその他の条件に変更がない限り、改めて入院日時のご連絡はしませんので、お忘れのないようにお願いします。
※入院時間前に病棟に上がられた場合は、部屋の準備が出来ていないため、お待ちいただく場合があります。

入院日が決まっていない患者さんへ

※後日、ベッドコントロール係または入院される診療科から入院日時を連絡いたします。

入院受付

《1階総合サポートセンター》

受付時間：平 日 8：30～17：00
 土曜日 8：30～17：00

《時間外窓口》

受付時間：上記以外の時間および休診日（日曜・祝日、11月15日（創立記念日）、年末年始）

場 所：3階救命救急センター受付



昭和大学藤が丘病院

Showa University Fujigaoka Hospital

目次

昭和大学の理念	3
患者さんの個人情報について	3
将来の医療を担う医学生	5
医学生による臨床実習に関するご案内	6
医療安全に関するメッセージ	7
昭和大学藤が丘病院における入院から退院まで	8
入院のお申し込みをされた方へ	9
入院から退院までの流れ	10
入院時の持ち物について	11
患者さんへのお願い	13
入院中の生活について	18
院内設備について	21
各種ご相談について	22
診断書・証明書について	22
入院会計について	23
救命救急センター入院案内	25
MEMO	26
病院への道順	

昭和大学藤が丘病院の理念

まごころを尽くし、以下の目標を達成します。

- ① 医療の質・安全の向上
- ② 患者本位の医療
- ③ 地域への貢献
- ④ 医療人の育成

昭和大学藤が丘病院の基本方針

- ① 大学病院として先進的医療を提供します。
- ② 説明と同意のもとに患者さんに最善の医療を提供します。
- ③ 病々・病診連携を推進し急性期医療に対応します。
- ④ 安心・安全な医療を提供すべく医療従事者を教育します。
- ⑤ 信頼される人間性豊かな医療人を育成します。

患者さんの権利

医療は患者さんと医療従事者（医療機関）との十分な信頼関係の上で成り立っています。

昭和大学藤が丘病院は、すべての患者さんの下記の権利を尊重した医療を行います。

- ① 公平で安全な良質の医療を受ける権利
- ② 各人の人格が尊重された医療を受ける権利
- ③ 個人の希望や意見を述べる権利とともに、希望しない医療を拒否する権利
- ④ わかりやすい言葉と方法で、納得できるまで説明と情報を受ける権利
- ⑤ 十分な説明と情報を受けた上で、治療方法など自らの意思で選択する権利
- ⑥ 個人情報厳正に保護される権利

患者さんの個人情報について

◎ 当院は、個人の権利・利益を保護するために、個人情報を適切に管理することを社会的責務と考えます。
また、取得した患者さんの貴重な個人情報を含む記録を、医療機関としてだけでなく教育研究機関として所定の目的に利用させていただきたいと思っておりますので、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

なお、当院が管理・保存する個人情報は、昭和大学の附属病院と共同利用しておりますことあらかじめご了承ください。

- ◎ お電話による患者さんに関する問い合わせにはお答えしておりません。
- ◎ 個人情報の利用目的、カルテ開示請求、相談窓口等については院内掲示・配布物をご覧ください。

ふじ が おか びょういん びょういん けんしやう 藤が丘病院 病院のこども憲章

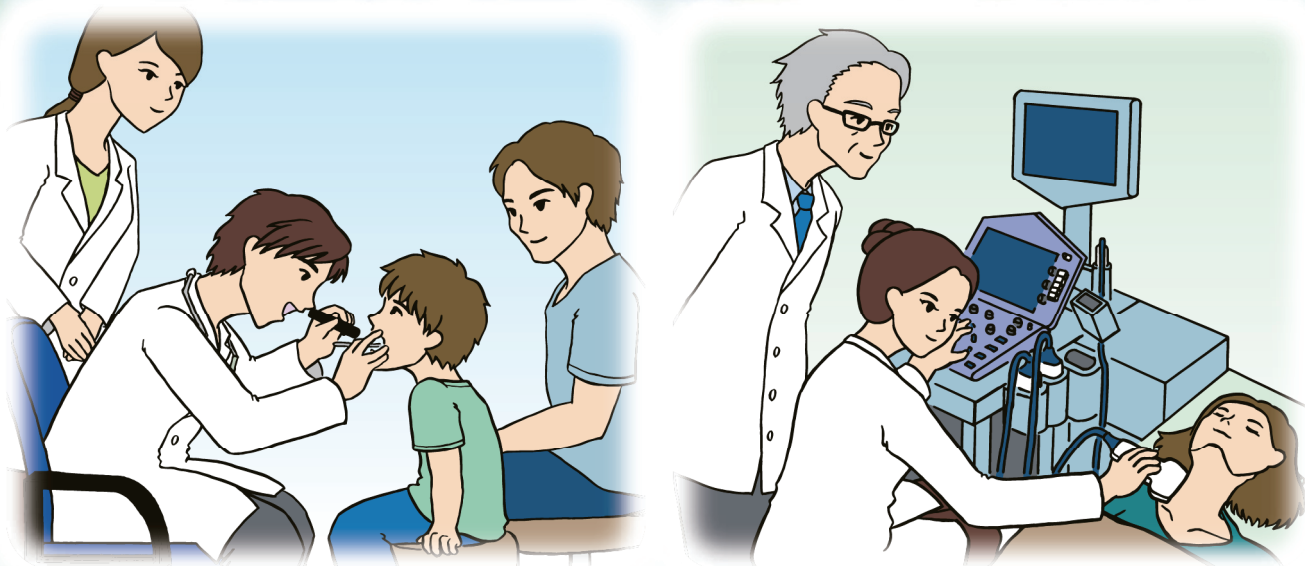
びょういん けんしやう 病院のこども憲章

こ どもたちの生命を守り、成長・発達を支援します。

あなたが^{まも}守られていること（こどもの^{かんじゃ}患者さんの^{けんり}権利）

- ① あなたは、どのようなときでも、ほかの人と同じように^{あんしん}安心して、^{こうへい}公平な^{いりやう}医療を受けることができます。
(^{いりやう}医療を受ける^{けんり}権利)
- ② あなたは、ひとりの^{ひと}人として^{たいせつ}大切にされ、ご^{かぞく}家族や^{びょういん}病院の人たちと一緒に^{いっしょ}力を^{ちから}合わせながら^{いりやう}医療を受け
ることができます。(安心できる^{あんしん}適切な^{てきせつ}環境で^{かんきやう}医療を受ける^{いりやう}権利)
- ③ あなたは、^{けんさ}検査や^{びょうき}病気を^{なお}治す^{ほうほう}方法について、あなたが^{ことば}わかる^え言葉や^し絵で^し知ることができます。
(^{いりやう}医療を知る^{けんり}権利・^{いりやう}医療に^{さんか}参加する^{けんり}権利)
- ④ あなたは、わからないことや^{ふあん}不安なことがあるときは、いつでもご^{かぞく}家族や^{びょういん}病院の人たちに^き聞いたり、
^{はな}話したりすることができます。(^{いりやう}医療を知る^{けんり}権利・^{いりやう}医療に^{さんか}参加する^{けんり}権利)
- ⑤ あなたは、^{けんさ}検査や^{びょうき}病気を^{なお}治す^{ほうほう}方法について、あなたが^{りかい}理解できるまで^{せつめい}説明を受けられます。
あなたの^{かんが}考えや^{きもち}気持ちをご^{かぞく}家族や^{びょういん}病院の人たちに^{つた}伝え、^{そうだん}相談してから^{けんさ}検査や^{びょうき}病気を^{なお}治す^{ほうほう}方法を^{けつてい}決定できます。
また、あなたに^{ひつよう}必要のない^{いりやう}医療から^{まも}守られます。(適切な^{てきせつ}情報提供を受ける^{いりやう}権利)
- ⑥ あなたは、からだ・^{せいちやう}こころの^{いりやう}成長を^{ひと}医療チームの人たちから^{ささ}支えてもらうことができます。
(^{かんきやう}ニーズにあった^え環境を得る^{けんり}権利)
- ⑦ あなたは、^{にゅういん}入院していても、^{ねんれい}年齢と^{しょうじやう}症状にあった^{あそ}遊びや^{べんきやう}勉強ができます。
(^{せいちやう}成長・^{はつたつ}発達の^{ほしやう}保証をされる^{けんり}権利)
- ⑧ あなたとご^{かぞく}家族ができる^{かぎ}限り一緒に^{いっしょ}過ごすように、^{びょういん}病院に^{たす}助けてもらうことができます。
(^{ひと}人との^{かか}関わりを^{ほしやう}保証される^{けんり}権利)
- ⑨ ^{びょういん}病院が^し知っているあなたの^{ひみつ}秘密（^{びょうき}病気や^{けが}けがを^{なお}治しているなど）は^{まも}守られます。
(^{こじんじやうほう}個人情報^{ほご}保護を受ける^{けんり}権利)
- ⑩ あなたの^{びょうき}病気を^{なお}治す^{ほうほう}方法は、^{いりやう}医療を受ける^{ばしょ}場所や^{ひと}人が^か変わっても^う受けられます。
(^{けいぞく}ケアの^う継続を受ける^{けんり}権利)

当院では 将来の医療を担う医学生 が臨床実習を行っています



よい医師になるためには、講義だけでなく、診療チームの一員として実際の患者さんを診療し学ぶこと（臨床実習）が必要です。


臨床実習を開始する前に修得すべき知識と技能を評価する「共用試験※」を受け、これに合格した医学生が、医師の指導監督の下、臨床実習を行っています。


医学生が医師となるために必要な知識と技能を修得できますよう、ご理解とご協力をお願いします。

※共用試験：国が医師法等に基づき指定した公益社団法人 医療系大学間共用試験実施評価機構が実施する学科と実技の試験

お気づきの点がございましたら、患者相談窓口等にご相談ください。

院長

作成：  **文部科学省** MINISTRY OF EDUCATION,
CULTURE, SPORTS,
SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN

ひと、くらし、みらいのために
 **厚生労働省**
Ministry of Health, Labour and Welfare

後援：全国医学部長病院長会議、国立大学医学部長会議、日本私立医科大学協会、日本医師会、日本医学会、医療系大学間共用試験実施評価機構、日本医学教育評価機構、日本医学教育学会

医学生による臨床実習に関するご案内

●昭和大学における医療人教育

人の痛みのわかる優れた医療人の育成をめざして、医学部・歯学部・薬学部・保健医療学部・医学部附属看護専門学校の学生や研修生等が指導者の監督のもと、附属病院の現場で見学・実習・研修を行っております。

●医学部における臨床実習

教科書的な知識だけでなく、医療の現場で必要となる技能や態度を学ぶため、医学生が診療チームの一員として実際の患者さんの診療を経験させていただいております。

●臨床実習に参加する医学生

4・5・6年生の医学部生です。

臨床実習を開始する前に必要な知識・技能・態度を評価する全国共通の試験（共用試験）に合格し、学生医「CCT：Clinical Clerkship Trainee（クリニカルクラークシップトレニー）」として認定されております。

●学生医が行う医行為

指導医の指導監督のもと、医行為を行わせていただくことがあります。

詳細はホームページ (<https://www.showa-u.ac.jp/SUHF/guide/info/igakurinsyojissyuu.html>) をご確認ください。

●医学生の同席や面接、診療などを希望されない場合

担当医にお申し出ください。

※拒否することによって、診療などに不利益を被ることはありません。

●学生医（CCT：クリニカルクラークシップトレニー）以外の医学生（1・2・3年生）の見学

低学年も臨床の現場を経験するため、見学をさせていただくことがあります。

患者さんにおかれましては、医学生が医師となるために必要な知識、技能および態度を修得できますよう、ご理解ご協力をお願い申し上げます。

ご不明な点がございましたら、担当医にお尋ねください。

昭和大学藤が丘病院長

昭和大学藤が丘リハビリテーション病院長



医療安全に関するメッセージ

手術はもとより注射や検査などの診療行為の多くは、皆さんの身体の負担になります。しかし、治療効果などの「利益」の方が大きいので、医療行為は成り立っています。

ここで皆さんに一考していただきたいのは、医療は本質的には不確実なものであることです。例えば、診療中の偶発的な合併症は、医師や看護師などの不注意による「過失」がなくても起こり得ます。私たちの身体のあらゆる機能は加齢に伴って低下します。健康に生活できている時には大事に至らない程度の機能低下でも、手術などの負担が加わるとそれが原因で思わぬ合併症に見舞われることもあります。また、ひそかに進行していた病気が身体への負担を契機に明らかになることもあります。

重要な合併症で予想できるものについては事前に説明できます。しかし稀な合併症や予想のつかないこともあり、全ての可能性を説明することはできません。私たちが医療行為を行うに当たり、皆さんに同意書を求めますがこうした不確実なことが医療に存在することをご承知いただいたうえで、同意書に署名してください。

疑問があるときには、納得できるまで質問して下さい。納得できない場合には、無理に結論を出さず、他の医師の意見(セカンド・オピニオン)をお聞きになるようお勧めします。何かお困りなことが生じましたら「1階総合サポートセンター」に遠慮なくご相談ください。

私たちは皆様と協働して質の高い医療を実践していく所存です。今後とも皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

昭和大学藤が丘病院 病院長

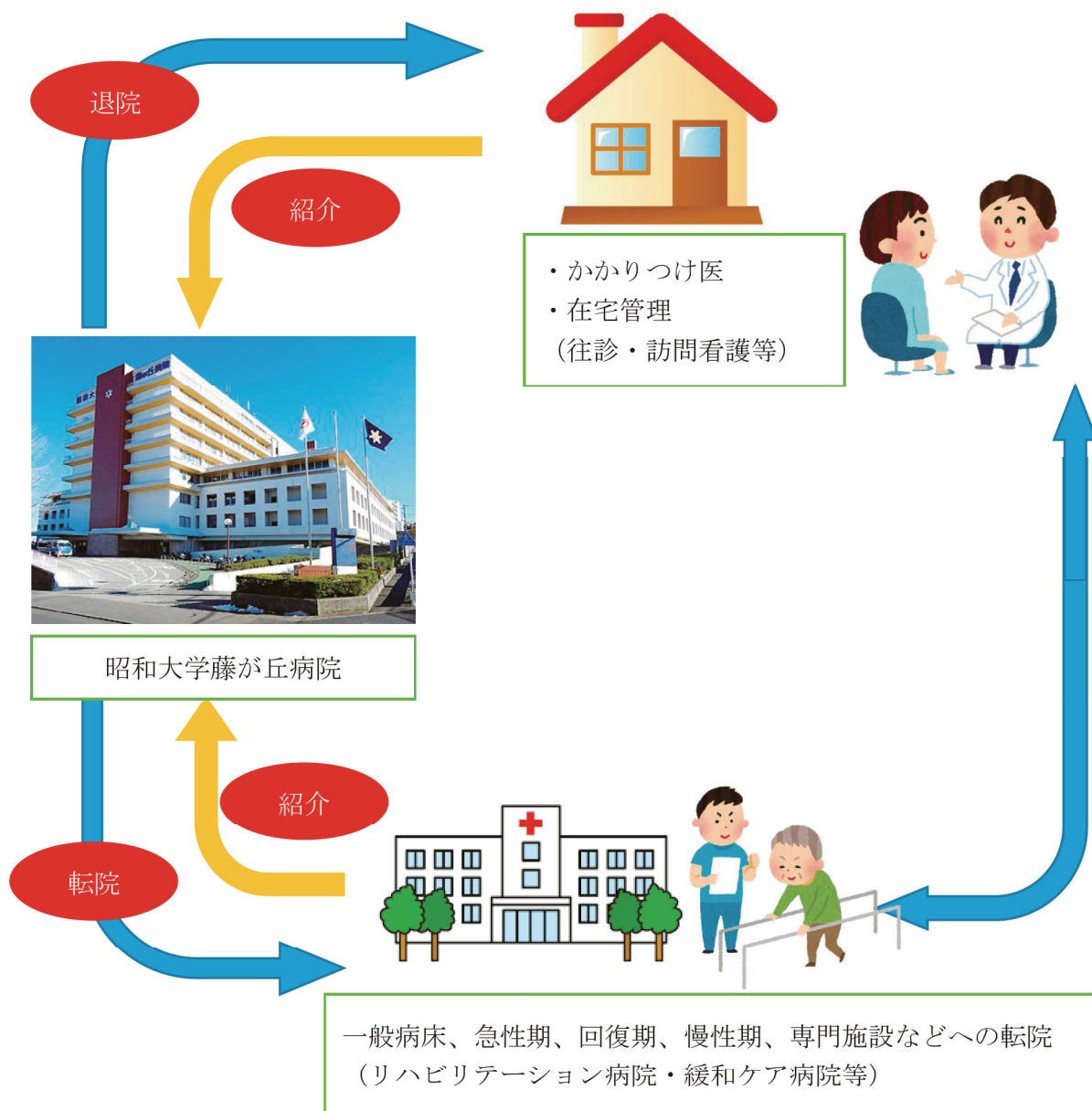


昭和大学藤が丘病院における入院から退院まで

当院には、大学病院として救急医療、急性期医療を必要とされる患者さんを、一人でも多く診断治療する使命があります。

厚生労働省は、質の高い医療を行うことを目的に、医療機関の役割分担を進めています。各医療機関がそれぞれの機能を活かして連携していく中で、当院は救急医療や急性期医療を提供する役割を担っています。そのため、当院での治療を必要とする患者さんをより多く受け入れるために、急性期の治療が終了し、病状が安定した患者さんには、原則として病状に合った治療が継続できる病院へ転院していただきます。

ご理解、ご協力のほどお願いいたします。



入院のお申し込みをされた方へ

お渡しする書類

- 入院のご案内（本冊子）
- 入院申込書 入院誓約書 転院退院病室変更の説明同意書
- 患者情報用紙（該当の方）
- 入院セットレンタル申込書



※ご利用される方は入院当日までにご記入のうえ、入院前の問診時にお持ちください。

- 特別療養環境室申込書（該当の方）

病室

- 当院には差額ベッド料のかからない多人床の一般病室と、差額ベッド料のかかる特別療養環境室（個室～4人床）があります。
- 特別療養環境室（差額ベッド料あり）を希望される場合は、診察時や入院申込み時にお伺いしますが、空床状況により、ご希望に添えない場合があります。予めご了承ください。
- 入院後のお部屋変更は病棟受付または看護師にお申し出ください。
- 認知症やいびき等により、他の患者さんのご迷惑になる場合には、個室等に移動していただく場合があります。予めご了承ください。

入院キャンセル連絡先

- ベッドコントロール係 電話番号 045 (974) 6509 (直通)
受付時間 9:00～16:00 (月～金)

インフルエンザや感染性胃腸炎等にかかられた場合

- 入院生活では他の患者さんと接する機会も多く、感染を広げる可能性が高くなります。
インフルエンザや感染性胃腸炎等又は流行性ウイルス性疾患（麻疹、水痘、風疹など）にかかられた場合、または、その可能性がある場合は、担当医師の判断で入院・手術を延期していただく場合がございます。予めご了承ください。

～ 限度額適用認定証 ～

70歳未満の方は、病院へ入院された時に、「限度額適用認定証」を提示すると窓口負担が一定の限度額にとどめられますので、加入されている健康保険の保険者までお問合せください。

※入院手続き時、健康保険証と一緒にご提示ください。

入院から退院までの流れ

1.入院予約

- 入院の必要がある方へは担当医師より入院予約（もしくは入院日）の指示があります。総合サポートセンター内、入院受付窓口にてお申込みください。手続き書類をお渡しします。

2.入院日決定

- 入院日決定のご連絡については、患者さんの病状、空床状況により異なりますが、早くて1週間前～2、3日前（場合によっては入院日前日）となる場合があります。予めご了承ください。
- 入院日が決まっている患者さんには変更がないかぎり連絡はいたしません。

3.入院手続 ※緊急入院の方はここから

- 入院日当日、患者さん本人もしくはご家族（代理）の方が総合サポートセンターへお越しください。病棟をご案内します。（診療科によっては外来・採血室等へご案内します。）入院病棟にて、入院手続きをさせていただきます。
- 特別療養環境室（差額ベッド）に入院の場合は、「特別療養環境室（差額ベッド）入室申込書」の記入をお願いします。
- 緊急入院の方は、空きベッドへのご入院となります。後日、お部屋の調整で転棟・転室していただくことがあります。予めご了承ください。
- 持ち物については、P11「入院時の持ち物について」をご覧ください。
※保険・住所・氏名の変更、諸法（医療証等）申請中の方は必ず手続き時にお申し出ください。
（保険証のご提示の無い方は、自費の扱いとなります。）

4.退院

- 原則、午前10時までに退院していただけます。ご協力をお願いします。
- お会計・お支払いについてはP23「入院会計について」をご覧ください。

次のような迷惑行為があった場合は、治療を中断し退院していただくとともに、併せて所轄警察に届ける場合があります。

1. 患者さんや職員にハラスメントや暴力行為があった場合、もしくはその恐れが強い場合。
2. 大声、暴言または脅迫的な言動により、他の患者さんに迷惑を及ぼし、あるいは職員の業務を妨げた場合。
3. 解決しがたい要求を繰り返し行い、病院業務を妨げた場合。
4. 建物設備等を故意に破損した場合。
5. 受診に必要な危険な物品を院内に持ち込んだ場合。
6. 許可なく録音、撮影をした場合。
7. 院内での喫煙、無断外出や離院をした場合。



- ・携帯電話の病棟での使用は可能ですが、携帯電話使用に関する注意事項をお守りください。
詳細は、P18「入院中の生活について(携帯電話)」をご覧ください。
- ・生花、ドライフラワー、ぬいぐるみ(小児病棟除く)などは衛生管理が困難なものの持ち込みはご遠慮ください。
- ・テレビ・暖房(冷房)器具等電化製品の持ち込みはお断りします。
なお、病室には有料(プリペイドカード使用)にてご利用いただけるテレビ、保冷庫があります。
- ・盗難予防のため、多額の現金や貴重品はお持ちにならないようにお願いします。
- ・ライター等の火器類、カミソリやはさみ等の危険物はお持ちにならないようにお願いします。
- ・つけ爪、ジェルネイル・ネイルアートは落として下さい。
- ・その他医師、看護師の判断により、入院生活に不適切な物、他の患者さんの迷惑となる物はご遠慮願います。

4階南A病棟(小児病棟)にご入院の方

□マグマグ、ストロー、コップ(毎食、スプーン・フォーク・箸はついてきます)

□食事用エプロン □よだれかけ □日常使用しているおもちゃ(ぬいぐるみは1週間に1度家庭での洗濯をお願いします) □勉強道具

※マグマグ、コップなどガラス、陶器など割れる危険性の高い素材のものは怪我の恐れもあるためご遠慮ください。

※哺乳瓶のお預かりはしていません。病棟に準備しております。

ただし、病状(口蓋裂)により特殊乳首やスプーンを使用している場合はお申し出ください。

※ベッドは患者さんの生活の場です。安全な環境で過ごしていただくため、おもちゃが多くなってしまった場合はお持ち帰りいただきます。目安は床頭台(縦37cm×横45cm×高さ42cm)の中に収まる程度です。

※持ち物には、名前の記入をお願いします。おむつ1枚ずつへの名前の記入は不要です。

- 破損・紛失の責任は負いかねますので、貴重品・現金・高価なおもちゃはお子さんにお預けにならないようお願いいたします。
- 入院後は、許可なくお子さんを病棟外へお連れにならないようお願いいたします。
- 入院後の症状の経過・ご相談は、11:00~17:00までをお願いします。ただし、重症の場合はこの限りではありません。
- お子さんの症状によりお部屋が変わることがあります。
- お電話でのお取次はしておりませんのでご了承ください。
- 携帯ゲーム機の持ち込みは可能ですが、万一破損・紛失・盗難にあった場合、当院では、一切責任を負いかねます。

患者さんへのお願い

安全

- 良質な医療を実現するために患者さんご自身の健康に関する情報は、できるだけ正確にお伝えください。
- 医療に関する説明でよくわからない場合は、納得できるまでお尋ねください。
- 入院及び外来治療では、治療上必要なルールがありますのでお守りください。
- 治療を受けていて異常を感じたら、すぐにお知らせください。
- すべての患者さんが適切な医療を受けられるよう、他の患者さんの迷惑にならないようにご配慮ください。

事故防止対策

<本人確認のために>

- 安全上、ご入院中は患者認識ベルト(リストバンド)の装着をお願いしております。また、検査・処置等における患者誤認防止のため、ご自身に姓名を言っていただき確認させていただきますのでご協力ください。
- 患者間違い防止のため、ベッド・点滴ボトル・輸血等に名前の記載表示を行っております。
- 同姓同名者がいる場合は、生年月日の確認をさせていただく場合があります。
- 入院中の外出・外泊は、すべて担当医の許可(所定の用紙に記入)が必要になります。

入院生活は、今まで生活していた家庭環境と変わるために、思いがけずに転んだり(転倒)ベッドから落ちたりする(転落)可能性があります。転倒・転落を完全に防ぐことはできませんが、当院では、入院の生活環境を整えて転倒・転落の予防に努め、安全で安心できる入院生活が過ごせるように配慮しています。患者さんも転倒・転落の防止対策にご協力をお願いします。

<転ばないために>

- 歩行時は運動靴タイプの履物で歩く。
※サンダル、スリッパ(クロックス)は転びやすいため入院中は使用しないでください。
- 長すぎる寝衣は足をとられて転倒する危険性がありますので、体に合ったものを着用する。
- 次のような時は看護師を呼び行動する。
 - 気分の悪い時。いつもと調子が違うと感じる時。
 - 夜間のトイレや洗面時、また便座から立ち上がる前後にふらつきがある時。
- ベッドから立ち上がる場合はテーブルによりかからない。
- 決められた移動手段を守る。



<ベッドから落ちないために>

- ベッドの上に立ち上がらない。
- お休み時はベッドの柵を使用する。
- ベッドから身を乗り出さない。

<キケン防止のために>

- 落下しやすいもの、壊れやすいものは床頭台に収める。
- カーテンレール・点滴台に物をかけない。

感染予防

- 病院感染から身を守るため、食事前やトイレの後以外にも、手洗いをこまめに行ってください。
- 病院内の感染を防ぐために、問題となる病原菌や感染症などが確認された場合、又はその疑いがある場合、感染予防を示すカード表示を行います。また、医療従事者は、手袋・ビニールエプロンの着用やマスク、ゴーグルを着用させていただきます。ご家族にも感染予防にご協力いただきます。
- 病院感染を予防するため、入院部屋の変更をお願いすることがあります。
- 換気扇が設置された個室は、空気感染予防に使用させていただくことがあります。ご利用の患者さんにおかれましては、日中夜間を問わず、他の個室に変更していただく場合がありますのでご了承ください。
- 発熱や咳、鼻汁などの呼吸器症状や下痢等の症状については、必ず医師、看護師にお申し出ください。入院中は、原則マスクを着用してください。特に検査室や院内コンビニエンスストア・タリーズなどに行く時は必ず着用してください。
- 咳エチケットにご協力ください。

入院中の手指衛生

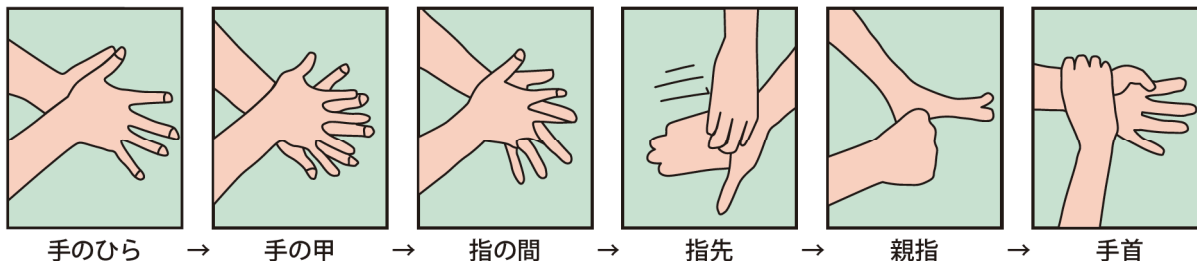
●手指衛生の必要性

健康な方にとっては、病原菌の多くは無害ですが、病院に入院される患者さんは治療や手術後の回復途中であり、病原菌に感染するリスクが高くなります。感染を防ぐためには、患者さんご自身、面会の方、医療スタッフが効果的な手洗い（以下手指衛生）を行っていくことがとても重要です。

●効果的な手指衛生の6つのポイント

病院の中で行う手指衛生は、「石鹼と水で手を洗う（以下手洗い）」「手指消毒剤を用いたすり込み式の手洗い（以下手指消毒）」の2つがあります。いずれも下記の6ポイントを意識して手指衛生を行いましょう。

〈手洗いの6ポイント〉



●手指衛生を行う具体的な場面

- 病室を出る時、戻るときに毎回手指衛生を行いましょう。
(特に、検査室や外来、院内コンビニエンスストア・タリーズ・院内レストランなどに行った後など)
- 食事の前にも必ず手指衛生を行いましょう。
- トイレ後の手指衛生は、手の汚れがあるため、「石鹼と水」で手をしっかり洗いましょう。

※見た目の汚れがない限り、「手洗い」よりも「手指消毒」の方が病原菌を取り除く効果が高いため、多くの場面では、手指消毒でよいとされています。病院の中で手指消毒は、廊下に配置された手指消毒剤を使用し、上記6ポイントを意識して両手全体にすり込んでください。

●当院の取り組み

当院では、「手指衛生宣言」を行い、患者さんの安全のために病院全体で手指衛生に取り組んでいます。患者さんに触れる前など医療スタッフの手指衛生の不足を感じた場合には、遠慮なくお申し出ください。

麻酔科管理の手術を受けられる患者さんへ

麻酔科からのお知らせ

当院の手術室では、麻酔科医師の指導のもと、歯学麻酔科の医師とともに麻酔を施行することがありますのでご了承ください。

インフルエンザなどの予防接種後は、一定期間手術をお断りしております。該当する場合は、必ず担当医にお申し出ください。

手術をお断りする理由（ワクチン接種後の麻酔の危険性）

- ・発熱、痙攣などのワクチンの副反応が強く出現する。
- ・麻酔薬による免疫抑制作用によりワクチンの効果が減弱する。
- ・生ワクチンの場合は弱毒株でも発症する。

手術をお断りする期間（緊急手術を除く）

生ワクチン…ポリオ、麻疹、風疹、BCG、おたふくかぜ、水痘の接種後4週間は手術ができません。

不活化ワクチン…三種混合（ジフテリア・破傷風・百日咳）日本脳炎、インフルエンザ、HB の接種後2週間は手術ができません。

コロナワクチン…接種後2週間は手術できません。

退院及び転院

- 当院は、急性期医療を提供する大学病院です。急性期とは、病気を発症し、急激に健康が失われ不健康となった状態です。医療においては発症後10～14日間以内が急性期の目安とされています。不健康の度合いが大きくなると死に至ることになります。急性期医療は、「病気の進行を止める」「病気の回復が見込める目途をつける」までの間、提供する医療です。急性期医療が終了し、身体状況が安定した状態、症状が固定された状態になり次第、退院または他の医療機関へ転院していただきます。より多くの患者さんに急性期医療を提供するためにご協力をお願いします。

喫煙

- 紙タバコ、加熱式、電子式等全て、院内を含め敷地内は全面禁煙です。



盗難防止

- 必要以上の金銭及び貴重品はお持ちにならないでください。万一盗難にあった場合でも、当院では一切の責任を負いかねます。
- セーフティーボックス（貸金庫）が床頭台の中に設置されていますのでご利用ください。なお鍵は、ご自身で管理してください。
鍵の保管には十分ご注意ください。
セーフティーボックスの大きさ：縦 20cm 横 7 cm 高さ 5 cm
- 不審な人を見かけたら、直ちに病院職員にご連絡ください。



防災

- 病室では酸素ガスを頻繁に使用しますので、火気の使用はお断りします。
- 地震など非常事態が発生した場合は、病院職員の避難誘導指示に従ってください。
- 火災発生時はサイレンが鳴りますので、病院職員の避難誘導指示に従ってください。
- 入院時に各病棟の中央エレベーターホールに掲示されている避難経路図で非常口の確認をしてください。

その他

- カメラ、録音機、スマートフォン等で、院内の様子や患者さん、職員の撮影・録音を行うことは固くお断りします。
- プライバシー保護のため、他の病室、診察室への出入りはご遠慮ください。
- 院内での飲酒は禁止しております。
- 院内への出前は禁止しております。
- 患者さん個人宛の郵便物を病院宛に郵送することはご遠慮ください。（退院・転院等によりお届けできない可能性があるため。）
- 患者さんからの金品等のお気遣いは一切お断りしております。
- 手術予定のある方は、指輪・ネックレス等の貴金属類をはずしてからご入院ください。（つけ爪、ジェルネイル、ネイルアートも落としてから入院してください。）
- お住まいの地域で選挙がある場合、当院内で不在者投票ができます。
詳しくは病院職員までお問合せください。
- 入院中、ご家族が患者さんの着替え等を持参した場合は 1 階守衛室で手続きが必要です。



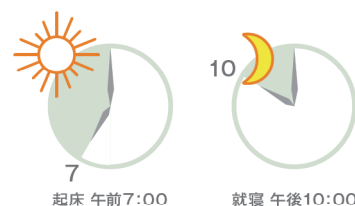
入院中の生活について

起床(点灯)・就寝(消灯)

起床(点灯) 7:00・就寝(消灯) 22:00

●乳児部屋 20:00

●学童部屋 21:00



お薬

- ◎持参したお薬は薬剤師もしくは看護師に必ずお渡しください。
- ◎担当医師から指示されたお薬は、決められた時間にお飲みください。
- ◎病状によっては、決められた時間に看護師がお持ちします。
- ◎薬剤師がお薬の説明に伺います。
- ◎当院より処方されたお薬以外の服用については担当医師にご相談ください。

シーツ交換

- ◎定期的に(1回/週)行います。汚れた時はその都度交換いたします。
- ◎病院備付以外の寝具の持ち込みはご遠慮ください。

食事

朝食 8:00~8:30・昼食 12:00~12:30・夕食 18:00~18:30 ごろ

(検査や治療のため上記の時間から前後することがあります。)

- お箸つきです。献立によってスプーンやフォークを配膳いたします。
- 使用済のお箸やスプーン、フォーク、コップなどは衛生管理の点から、ベッドサイドに残さず毎食下膳してください。また、食器類のお持ち帰りはご遠慮ください。
- 食事は病院で用意したものをお召し上がりください。それ以外の持ち込みは治療に影響する場合がございますので、医師の許可が必要です。
- 義歯(入歯)を下膳しないようご注意ください。特に部分入れ歯のような小さな義歯は探すことができません。
- 嚥下に不安がある方は、お申し出ください。
- 飲み水やお茶にとろみが必要な方は、ご自身でとろみ剤をご用意ください。
- 配膳間違い防止のため、配膳員がお名前を確認させていただきます。ご理解ご協力のほどお願いいたします。
- 4階南A病棟(小児病棟)にご入院の方は、食べ物・飲み物の持ち込みは禁止しております。

病衣

- ご希望の方には入院セットの貸し出しがでございます。
入院手続き時または入院中に随時申し込み可能です。



詳細につきましては、別紙 入院セット・紙オムツセット申込書を、ご確認の上お申し込みください。

- 貸し出しを希望されない場合は、ご持参ください。

テレビ

- カード式です。各病棟自動販売機でテレビカードをご購入ください。

(1枚 1,000円)(個室・小児病棟対象外)

1時間 85円です。1分で1度テレビカードから引かれます。

- テレビカードの精算機は1階会計センター付近に設置しております。
- 個室以外でテレビをご覧になる場合は、有線イヤホンが必要となります。

イヤホンは2～3端子をご使用ください。4端子マイク付、iPhone用は使用できません。



保冷库

- カード式です。各病棟自動販売機でテレビカードをご購入ください。
- 冷蔵庫と違い、冷たい物を維持する機能となります。常温からもある程度冷えますが、限度があることを予めご了承ください。
- 使用料 24時間単位で72度(100円相当)テレビカードの度数から引かれます。

電話

- 各階に公衆電話を設置しております。(一部備付け病室があります)(小児病棟対象外)
- 国際電話機は、1階中央階段裏に設置しております。
- 各病棟のスタッフステーションへの電話は、お取次ぎできません。(緊急時はその限りではありません)

携帯電話

病棟内の携帯通話許可エリアでは、通話が可能です。

通話許可エリアは、各病棟のご案内でご確認ください。

- メールは、病棟内すべて使用可能です。
- 個室(1人床)のみ、病室内で通話・メールとも、使用可能です。
- 救命救急センター・集中治療センターでは携帯電話の電源をお切りください。
- 使用許可時間は起床時間から就寝時までです。
- その他、携帯電話使用に関する注意事項を各病棟掲示のご案内でご確認ください。



パソコン・タブレット

- ノート型パソコンは、個室および病棟エレベータホールのみ使用可能です。
- 1階タリーズ(カフェレストラン)では docomo、au、softbank の Wi-Fi が使用可能です。
- 病棟でパソコンを使用する際のインターネット環境は、ポケット Wi-Fi 等をご自身でご用意ください。

～電源のご利用について～

充電は自室の白コンセントをご使用ください。

病院の電源は、医療機器を使用するために設置しています。携帯電話、パソコンなどの充電は最小限にしてください。

面会

コロナ禍においては面会制限を実施しています。

ご家族が着替え等を持参する場合は、1階守衛室で手続きして下さい。

以下は通常面会時のご案内です。

患者さんのプライバシーの配慮と治療・療養・安静を考慮し、ご面会については下記のとおり定めております。

- 面会の方は、1階正面玄関脇の守衛室で面会用紙を記入し、面会シールを付け、患者さんが入院されている病棟へ行き、スタッフステーションにお声掛けください。
- 電話による患者さんに関する問い合わせには、患者さんのプライバシー保護のためお答えしておりません。
(なお特別な事情等の場合は、看護師にお申し出ください)
- 4南A病棟(小児病棟)へのご面会はセキュリティ上、面会許可者(原則保護者の方)以外お断りしております。
- 10才以下の小児、風邪等症状のある方は、感染防止のため面会をご遠慮ください。
- 感染症(新型コロナ・インフルエンザ・ノロ)等流行期には面会制限又は中止とさせていただくことがあります。
- 患者さんの病状により、面会時間の短縮や面会をお断りすることがあります。
- 患者さんの希望により、面会をお断りすることがあります。
- 面会をされる方は、他の患者さんの迷惑にならないようご協力ください。
(状況に応じてロビーなどでお願いする場合があります)
- 面会の際に駐車場をご利用の場合、駐車料金の割引はありません。
- 感冒、その他伝染性疾患(麻疹、風疹、水痘、流行性耳下腺炎)に感染、または感染疑いの方は、病棟内には入ることができませんのでご了承ください。
潜伏期間：麻疹 9～11日、水痘・風疹・耳下腺炎 14～21日
- 同居家族が伝染性疾患に罹患されている場合、ご近所・幼稚園・学校等で流行し、接触したと思われる場合は看護師にお申し出ください。
- 面会者の病棟内でのご飲食はご遠慮ください。



面会時間		
一般病棟・ICU・EIU	平日	15:00～20:00
	土曜日・休診日	10:00～20:00
4南A病棟(小児病棟)	平日	11:00～20:00
	土曜日・休診日	10:00～20:00
4東病棟 (一般・産科・新生児)	全日	14:00～20:00

付き添い

- 入院基本料の施設基準による、看護要員を配置しておりますので、原則として付き添いはお断りしております。
- 特別な理由でご家族の付き添いを希望される場合は、担当医または看護師にご相談ください。
付き添い時の駐車料金の割引はありません。

入院中の他院受診について

入院中に、他の病院・医院で診療・投薬(家族の方が薬をもらいに行く等も含む)を受けることは原則お断りいたしますが、希望される方は担当医へご相談ください。

ご本人・ご家族の判断で他院へ受診した場合、自費の支払いとなる場合があります。

担当医が他院での診療が必要と判断した場合は、他院を紹介させていただきます。

院内設備について

ナチュラルローソン(コンビニエンスストア)

店内が密になりやすいため、入院患者の感染防止対策の一環で利用時間を制限しています。

場 所	営業日	営業時間	入院患者利用可能時間
1階	平日・土曜	7:00～20:00	7:00～8:00と18:00～20:00
	日曜・祝日	8:00～18:00	8:00～18:00

タリーズ(カフェレストラン)

オープンスペースのため、入院患者の利用時間は制限していませんが、テイクアウトのみの利用とします。

場 所	営業日	営業時間	入院患者利用可能時間
1階	平日・土曜	7:00～20:00	7:00～20:00
	日曜・祝日	休業	—

レストラン

感染対策のため、患者さん・ご家族の使用を中止しています。

場 所	営業日	営業時間	入院患者利用可能時間
地下1階	平日・土曜		使用中止
	日曜・祝日		

公衆電話

- 1階中央階段裏及び各病棟に設置しております。
- 国際電話機は、1階中央階段裏に設置しております。

郵便

- 1階ナチュラルローソンにポストを設置しております。
- 切手は1階ナチュラルローソンにて販売しております。

駐車場

- 当院患者さん専用の駐車場を設けております。

	収容台数	駐車場料金	
		患者さん(入院・外来等)	一般(お見舞の方等)
第一・第二駐車場	192台	最初の1時間無料 1時間ごとに100円	1時間ごとに300円
駅前駐車場	210台	最初の1時間無料 1時間ごとに100円	20分ごとに100円

※割引対象は、入院当日と退院当日の付き添い・外来受診日・文書申込日とし、それ以外(面会・文書受取時等)は割引対象外となっております。

なお、緊急入院につきましては、職員にご相談ください。

キャッシュディスペンサー(ATM)

- 1階ナチュラルローソン内に設置しております。



各種ご相談について

内 容	担当部署	電話によるお問い合わせ先
患者さんが安心して治療に専念できるように、医療ソーシャルワーカーや看護師がご相談に応じます。(予約制)(例:経済的な問題・退院後の問題等) また、苦情やご意見を承ります。	総合サポートセンター	045(974)6307 8:30～17:00 (平日)(土曜)
入院案内 各種書類(診断書等)受付 各種諸法(自賠責・労災等)に関する手続き	総合サポートセンター	045(974)6308 8:30～17:00 (平日)(土曜)
カルテの開示申請受付 当院では、厚生労働省「診療録等の保存を行う場所について」の指針に従って入院診療録等の外部保存を行っております。入院診療録等の外部保存については、必要に応じて利用できる体制で患者さんのプライバシー保護・セキュリティには十分な注意を払って実施しておりますのでご了承願います。	総合サポートセンター (診療情報管理室)	045(974)6214 9:00～16:00 (平日)
がんの治療や療養生活全般の質問や相談を医療ソーシャルワーカーや看護師が、お受けしています。(予約制)	がん相談支援センター	045(974)6307 8:30～17:00 (平日)
入院費の概算・料金に関する相談	入院請求係	045(974)6216 8:30～17:00 (平日)(土曜)

診断書・証明書について

- 書類の出来上がりまでには、3週間程度のお時間をいただきます。
- 提出先(生命保険等)によって用紙が指定されていることがあります。提出先にご確認の上、お申し込みください。
- 入院証明書等は、退院日が確定しないと、お受けできないことがあります。
- 患者さん本人以外のお申し込みは、委任状及び申請される方の身分証明書(保険証、運転免許証など)が必要となります。

お申し込み窓口

「入院中の場合」各病棟のスタッフステーションまたは総合サポートセンター(書類の種類によっては病棟で受け付けできない場合もございます。)

「退院時・退院後の場合」総合サポートセンター(時間外会計窓口でのお申し込みは受け付けておりません。予めご了承ください。)

- 書類の種類(当院規定の普通診断書等)によっては、各科外来窓口又は入院病棟にお申し込みいただくものがあります。また、申込み前に医師への確認が必要な書類もありますので、詳細につきましてはリーフレット「診断書・証明書の発行を希望される方へ」をご参照くださるか、総合サポートセンターまでお問い合わせください。
- 電話や郵送でのお申し込みは、受け付けておりません。

文書料金

病院ホームページまたは、総合サポートセンター掲示板をご参照くださるか、総合サポートセンターまでお問い合わせください。

- 出来上がり書類のご郵送をご希望の方は、別途郵送料がかかります。
- 文書料及び郵送料は、お申込時にお支払いいただきます。

入院会計について

入院料

- 当院は、入院医療費の包括評価算定方式（DPC）を導入しております。

（包括評価算定方式とは）

- ・1日あたりの定額の点数を基に、医療費を算定する方式です。
- ・1日あたりの点数は、厚生労働省の定める診断群分類の区分ごとに、入院日数に応じて定められています。
- ・患者さんの病気・治療ごとにこの方式に該当するかどうかは主治医の判断によります。
- ・診断群分類に該当しない場合は「出来高算定」となります。
- ・入院中にこの診断群分類が変更となった場合は、次回請求時に前回支払額との差額の調整を行うことがありますので、ご了承ください。
- ・当該入院料については、当院領収書の「診断群分類（DPC）」欄に表示しています。
- ・診断群分類に該当せず出来高算定となった場合は、当院領収書の「入院料等」欄に表示しています。

負担割合	保 険 種 類			
1割負担	・後期高齢者	【75歳以上】	（一般世帯の方）	上限月額 57,600円
2割負担	・前期高齢者	【70～74歳】	（一般世帯の方）	上限月額 57,600円
2割負担	・6歳未満の乳幼児			
3割負担	・国民健康保険	【自営業等】		
	・社会保険	【会社員等】		
	・後期高齢者	【75歳以上】	（一定以上の所得の方） 上限月額 80,100円 + 医療費から一定額を引いた残額の1%	
	・前期高齢者	【70～74歳】	（一定以上の所得の方） 上限月額 80,100円 + 医療費から一定額を引いた残額の1%	

※入院手続きの際、（必須）保険証・医療券・限度額適用認定証をご提示願います。

- 健康保険法により、入院料は入退院の時間にかかわらず当該日午前0時を基点として1日分の料金をいただきます。例) 1泊2日 → 2日分
- 差額ベッド代は、入退院の時間にかかわらず当該日午前0時を基点として1日分の料金となります。例) 1泊2日 → 2日分
- 差額ベッド代、食事療養費、病衣、証明書料については保険・高額療養費の対象外となります。
- 分娩入院の方の場合、正常分娩は保険適用外となります。帝王切開での出産の場合には、医療費が別にかかります。
- 外泊時の入院料は、入院基本料の15%、差額ベッド代は1日分の料金となります。
- 同じ病気で入院期間が180日を超える患者さんについては、入院特定療養費として、入院基本料の一部を自己負担していただく場合があります。180日を超えて自己負担が発生する患者さんについては事前にお知らせします。
- 治療上で起きた合併症や偶発症に係わる治療費のお支払いについてご理解ください。

入院時の医療費の窓口負担額が軽減されます

- 70歳未満の方は限度額適用認定証を病院に提示することにより、窓口負担が自己負担限度額までの支払いで済み、費用負担が軽減されます。

※低所得の方は、「限度額適用・標準負担額減額認定証」が交付され、食事代も軽減されます。

※加入されている保険者（国民健康保険→役所・社会保険→それぞれの機関）に申請し、限度額適用認定証の交付を受け、入院手続き時に窓口へご提示ください。

※ご提示された月からの適用となりますのでご注意ください。

請求・支払い期限

●請求書は、病棟にて係の者がお渡しいたします。

入院中の方

- 当院では、定時請求として入院日から月末で締め、翌月 10 日前後に請求書(月 1 回)を患者さんの病室にお届けします。請求書を受け取られた日から 10 日以内に全額をお支払いください。
- 請求書を受け取られた日から 20 日以上経過しても、お支払いがない場合は、次回の請求書に督促状を添付させていただきます。

退院される方

- 退院の方は退院日に、請求書を病室へお届けします。退院日が土曜日や休日の場合は、前日(平日)の夕方に病室にお届けします。退院当日までに全額をお支払いください。

※概算金額をご希望の方は病棟窓口または 1 階会計センター会計窓口までお申し出ください。

お支払い方法

- 入院費のご精算は自動精算機をご利用ください。
 - ・診察券もしくは請求書のバーコードを読み取らせてご精算ください。
 - ・退院日前日にお渡しした請求書は請求書発行時点までのお会計となっております。追加処方やその他診療行為が発生した場合は、請求金額が変更となる可能性がありますので、ご了承ください。

自動精算機稼働時間 平日 8:30~18:00

土曜日 8:30~17:00

※上記以外の時間及び休診日(日曜・祝日、11/15(創立記念日)、年末年始)は 3 階の時間外会計窓口にてお支払いください。

設置場所 1 階会計センター(コンビニエンスストア横)

※クレジットカード可

- 産科分娩・予納金・歯科のお会計のある方は自動精算機をご利用いただけません。1 階会計センター会計窓口までお越しください。
- 特定疾患や、指定難病の管理票をお持ちの場合、自動精算機をご利用いただけません。1 階会計センター会計窓口にて請求書と管理票をあわせてご提示ください。
- 上記以外にも自動精算機をご利用いただけない場合がございます。その際は 1 階会計センター会計窓口までお越しください。
- パジャマセットレンタル代は、1 階レンタル用品お支払い窓口にてお支払いください。

支払いは現金のみ 平日 8:30~17:00 土曜日 8:30~13:00

- お支払いについてのご相談・お問い合わせ先

入院請求係 平日 8:30~17:00

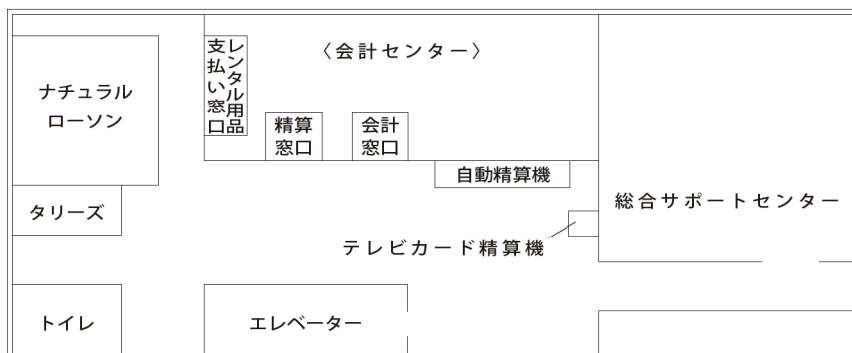
土曜日 8:30~17:00

※日曜・祝日、11/15(創立記念日)、年末年始を除く

電話 045(974)6216

窓口 1 階会計センター会計窓口

1 階案内図



救命救急センター入院案内

当院の救命救急センターの診療は、初期(第1次)救急医療施設または、第2次救急医療施設からの重篤な転送患者さんの救命医療を迅速に行うことが主たる目的です。従いまして、新たに発生した重篤患者さんの受入ベッドの確保が常時必要になりますので、入院期間は最長2週間程度として、症状に応じて紹介先の病院等に転院していただきますので、予めご了承ください。

面会について

救命救急センター内で行われている処置・検査などで時間を要する場合や患者さんのプライバシー保護の観点から、面会までに数分から長い時には1時間以上お待ちいただくことがあります。予めご了承ください。原則家族のみ面会可能となります。

なお、面会をお待ちいただく時は、患者待ち合いをご利用ください。

※P20「面会参照」

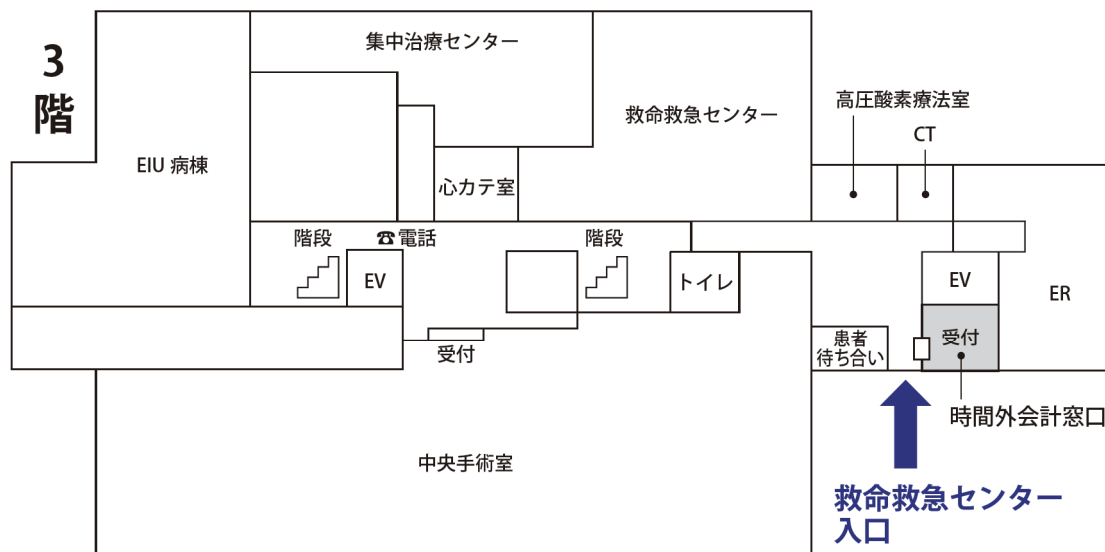
面会時間		
救命救急センター	平日	15:00～20:00
	土曜日・休診日	10:00～20:00

※上記の時間で、ご都合の悪い場合は看護師にご相談ください

その他

入院時に診療の妨げになる貴重品(時計・指輪等)や衣類等を身につけている場合、必要に応じて切断させていただきます。

3階救命救急センター案内図

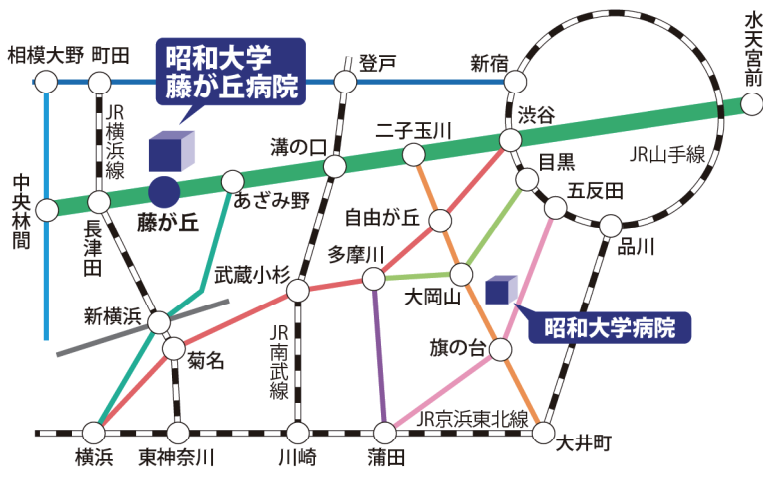


MEMO

MEMO

病院への道順(案内図)

交通案内

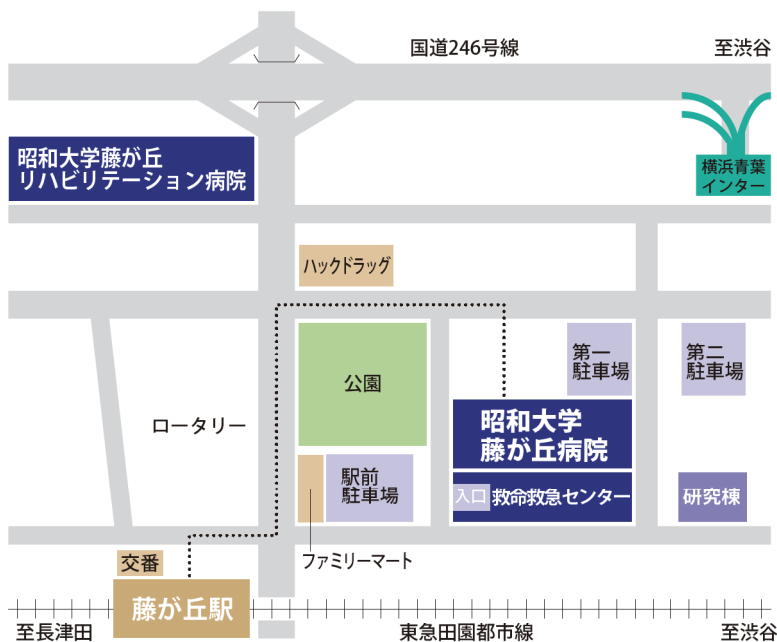


東急田園都市線、藤が丘駅より徒歩3分

- JR新横浜駅より、市営地下鉄線
あざみ野駅で東急田園都市線に乗り換え約22分
- JR長津田駅より東急田園都市線で約8分
- JR渋谷駅より東急田園都市線で約35分

- 東急田園都市線・地下鉄半蔵門線
- 東急大井町線
- 東急多摩川線
- 東急池上線
- 小田急江ノ島線
- 東海道新幹線
- 東急目黒線
- 東急東横線
- 小田急小田原線
- 横浜市営地下鉄線
- JR各線

病院周辺案内



〒227-8501

神奈川県横浜市青葉区藤が丘 1-30

TEL : 045(971) 1151(代表)

FAX : 045(973) 1019(代表)

各科の診療内容・特徴につきましては、
ホームページをご覧ください。

<https://www.showa-u.ac.jp/SUHF/>



昭和大学藤が丘病院

Showa University Fujigaoka Hospital